

効果の認識が免許返納意識に及ぼす影響に関する研究

秋田大学 学生会員 ○前田 優也  
 秋田大学大学院 正会員 鈴木 雄  
 秋田大学大学院 正会員 日野 智

1. はじめに

近年、高齢ドライバーによる交通事故が問題視されている。免許人口 10 万人当たりの死亡事故件数をみると、75 歳以上の高齢ドライバーが他の年代に比べて多くなっている。その対策の一つとして、運転免許の自主返納が挙げられる。免許返納率は上昇傾向にあるが、返納率は 2.2%(平成 29 年)に留まっている。その理由として、買い物や通院が不便になるという不安が推測される。解決策として、公共交通や免許返納特典の充実が考えられる。しかし、同じ環境にあっても返納する人とならない人がいる。その差は、免許返納の効果に対する認識の違いであると考え、本研究では、免許返納者と免許保有者の免許返納に対する効果の認識の差を明らかにし、免許返納を促進する要因を探ることを目的とする。

2. 意識調査及び調査対象地区の概要

本研究では、免許返納者と保有者のそれぞれの免許返納に対する意識を明らかにするため、秋田市内の 4 地区において平成 30 年 12 月に意識調査を行った。調査票は合計で 1,900 世帯に 3,800 票を配布し、166 世帯 172 票を回収した。世帯回収率は 8.7%であった。

3. 免許返納に対する意識調査

免許保有者の免許返納意思を図 1 に示す。返納意思が有る「近々返納したい」、「返納しようか迷っている」、「将来は返納しようと思っている」とした回答が 76.1%を占めている。

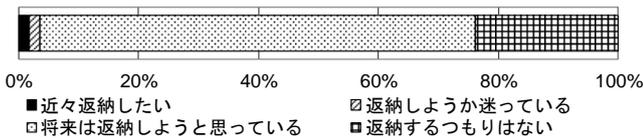


図 1 免許保有者の免許返納意思

免許返納者、返納意思のある免許保有者、返納意思のない免許保有者の免許返納に対する良い効果に対して「そう思う・ややそう思う」と回答した割合を図 2 に

示す。項目別に見てみると、3 項目で有意な差が見られた。返納意思に関わらず「交通事故を起こさない安心感」が最も割合が高い。また、返納者と保有者が認識している良い効果に差があることもわかる。

次に、免許返納者、返納意思のある免許保有者、返納意思のない免許保有者の免許返納に対する悪い効果に対して「そう思う・ややそう思う」と回答した割合を図 3 に示す。多くの項目について回答割合が免許返納者<返納意思のある保有者<返納意思のない保有者となっており、返納意思が低いほど免許返納の悪い効果を認識している傾向にある。

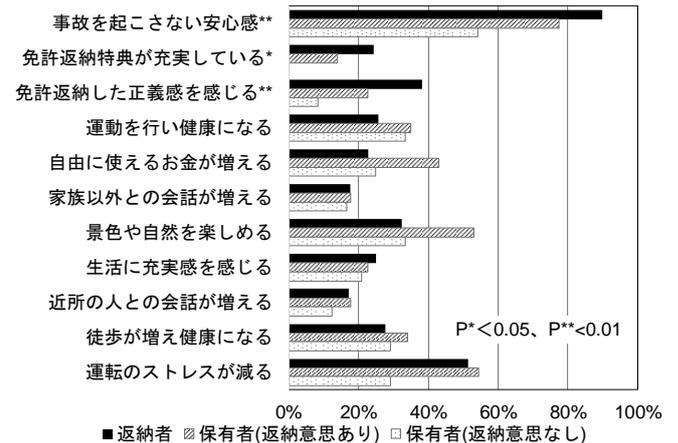


図 2 良い効果の認識の差

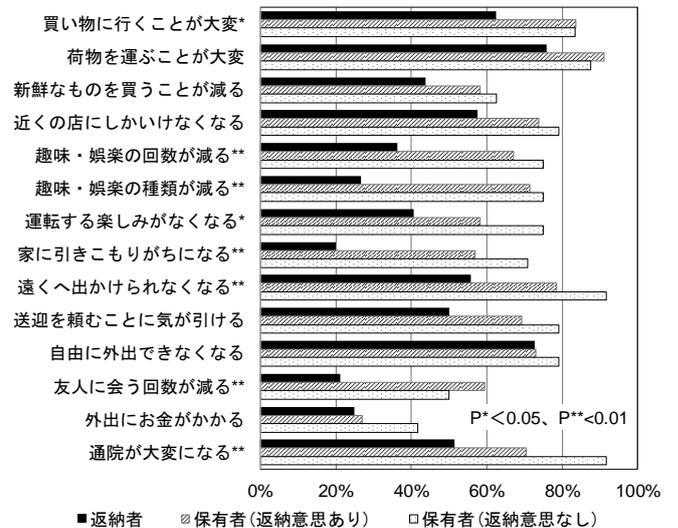


図 3 悪い効果の認識の差

キーワード：交通安全、運転免許返納、高齢運転者、意識調査分析

連絡先：〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町 1 番 1 号 TEL (018)889-2359 FAX (018)-889-2975

「良い効果の認識」と「悪い効果の認識」の差から、免許保有者は返納に対してある程度の良い効果を認識しているものの、それを上回る免許返納に対する悪い効果を認識していることが分かった。

このことから免許返納を促進するためには、免許返納に対して良い効果を与えることに加え、悪い効果のイメージを払拭し、「それほど悪くない」ことを認識してもらうことも重要といえる。

#### 4. 数量化理論Ⅱ類による免許返納意識の分析

免許返納意識に対して、各効果がどれほど影響を与えているかを明らかにするため、数量化理論Ⅱ類による分析を行った。外的基準を免許返納意識、アイテムを被験者の属性、免許返納の効果等の19項目とし、レンジ値を算出した(図4)。免許返納意識に対して、家族の人数の項目が最もレンジ値が大きい。効果の認識については、「自分が否定されているようである」が最も大きい。特に、免許返納意思のない方向に対して強い影響を与えており、そのような意識を有する被験者は免許返納に否定的と考えられる。結果として、個人属性が免許返納意識に大きな影響を与えているものの、効果の認識も影響を与えていることが明らかになった。

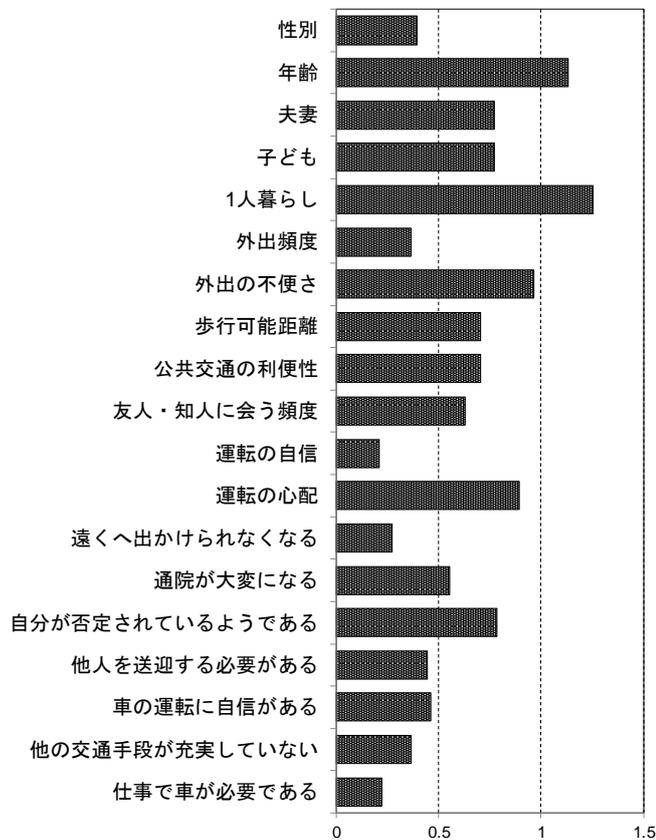


図4 免許返納意識への影響要因

#### 5. 効果の認識改善による免許返納意識の変化

本研究では、免許保有者に対して「自動車保有の費用」、「健康」、「免許返納特典」の3項目について免許返納による良い効果を配布資料で説明し、免許返納意識に変化があるか、また、どの項目が免許返納に効果があるかを質問した。

結果を図5に示す。免許返納意思のある保有者は67%が返納による効果の認識改善により免許返納を検討すると回答した。また、免許返納意思のない保有者でも返納による効果の認識改善により16%が免許返納を検討するという結果になった。このことから、免許返納に対する印象の改善は、免許返納を促進することに期待できるといえる。

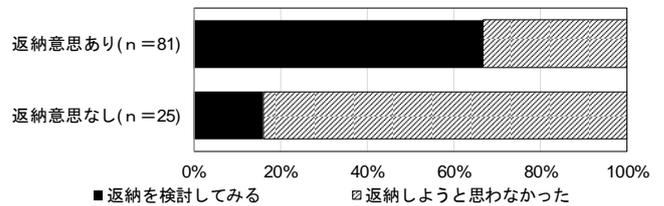


図5 資料読了後の免許返納意識の変化

免許返納意識に変化があった被験者が回答した意識の変化に影響した項目を図6に示す。自動車保有の費用の項目に関しては、男女に差は無く、健康に関しては男性、免許返納特典に関しては女性に効果があることが分かった。さらに、自動車保有の費用や健康に関する項目に比べ、免許返納特典の認知は、免許返納意識に与える影響が小さいことが分かった。

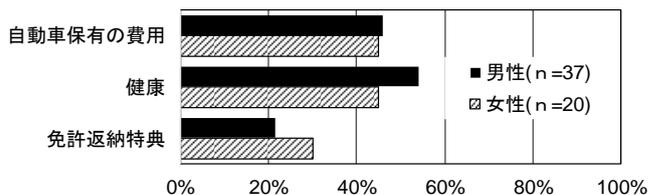


図6 免許返納意識の変化に影響を与えた項目

#### 6. おわりに

本研究では、秋田市内の免許返納者と免許保有者を対象に免許返納の効果の改善が免許返納意識に与える影響について分析を行った。

免許返納意識には個人属性などが影響を与えている一方で、免許返納の効果も影響を与えていることが明らかになった。また、免許返納の効果の改善により返納意思のない保有者に対しても返納意思に変化が見られた。このことから、効果の認識の改善が免許返納を促進することに期待できる。